

HTDE

2019 日高ツーデイズエンデューロ

開催要項・大会特別規則

2019 年 4 月 26 日版

序 文

本大会は、1984 年に初めて苫小牧市で開催、2 年後の 1986 年に日高町に開催地を移した
インターナショナルツーデイズエンデューロをその源流とし、数度の開催休止を経て現在
に至ります。本大会は、選手が自らモーターサイクルの性能とライダーとしての技量を試
す機会として開催します。

開催要綱

大会名称	2019 日高ツーデイズエンデューロ
併 催	2019 MFJ 全日本エンデューロ選手権 第 3 戦 2019 MFJ 北海道エンデューロ選手権 第 5 戦
格 式	FIM(国際モーターサイクリズム連盟)エンデューロ準国際競技会
主 催	MFJ 北海道
運営主管	日高モーターサイクリストクラブ HTDE 実行委員会
公 認	一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
後 援	日高町、日高北部森林管理署、国立日高青少年自然の家
協 力	陸上自衛隊日高分屯地、日高町観光協会、日高西部消防組合日高支署 ひだか高原荘、北海道猛牛組合、モトラルフ、JEC プロモーション
事 務 局	〒064-0944 札幌市中央区円山西町 7-7-9 日高モーターサイクリストクラブ事務局 TEL 090-3110-1571 E-MAIL hidaka@myad.jp

開催日 2019年9月14日(土)・15日(日)
9月13日(金) パドックオープン・前日受付・前日車検
9月14日(土) 受付・車検 競技1日目
9月15日(日) 競技2日目
開催地 北海道日高町 ひだか高原荘を基点とする日高町一円
沙流川温泉ひだか高原荘 (パルクフェルメ)
<http://kougenso.jp/>
〒055-2315 日高町字富岡 444-18

出場申し込み

出場定員 200 名。

エントリー費

IA・IB・NA・NB・W (全日本クラス)	30000 円
B・C・C-W クラス (エンジョイライセンス)	28000 円
Fクラス2デイズ (エンジョイライセンス・2日間)	28000 円
Fクラス1デイ (エンジョイライセンス・1日のみ)	19000 円
ヴィンテージ2デイズ(エンジョイライセンス・2日間)	28000 円
ヴィンテージ1デイ(エンジョイライセンス・1日)	19000 円

*全日本クラスクラスにおいて25歳以下の選手は5000円、21歳以下の選手は10000円減額され、減額分は大会当日受付時に返還される。(本年の誕生日を迎えた時点で満25歳以下、21歳以下であること)

Fクラスについて

HTDEでは2017年まで、普及を目的とし、大会に併催して「フリーライドツアー」を実施してきましたが、実施形態の都合上募集人数が数名に限られ、普及という目的を十分に達成することができませんでした。それに代わるものとして、Cクラスよりも簡単なルート設定と、走破するのが難しいスペシャルテストだけを走る設定のFクラスを新設します。

Fクラスの特徴

- ・エンジョイライセンスで参加可能(承認クラス)
- ・難しいルートを迂回
- ・難しいスペシャルテストは入らずに通過
- ・2日間または1日だけの参加も可能

ヴィンテージクラスについて **新設**

本 2019 年大会で初めて実施します。コースとタイムスケジュールは F クラスと同様とし、1989 年以前に製造・販売されていた車両を対象にします。エントリー状況に応じて、ツインショッククラス、空冷クラス、水冷クラスなどの表彰を行います。

クラブチームエントリー

3 名 1 組で代表者が申し込みをすること。クラブチームはどのクラスに参加しても良く、参加クラス内での 2 日間総合順位をそのままポイントとして 3 名を合算し、もっともポイントの少なかったチームを上位とする。同ポイントの場合は、上位入賞者が多いチームを優先とする。リタイアした選手には、もっとも参加者が多かったクラスの最下位の順位よりも大きいポイントを与える。クラブチームエントリーの費用は 5000 円とする。

※注、F クラスとヴィンテージクラスは対象外。

エントリー受付期間

ひだか高原荘宿泊予約のための早期エントリー

全てのクラス	5 月 2 日～5 月 14 日
--------	------------------

通常エントリー

IA・IB・W・NA・NB クラス	7 月 23 日～8 月 6 日
-------------------	------------------

B・C・F・ヴィンテージクラス	8 月 9 日～8 月 16 日
-----------------	------------------

エントリーのキャンセル

参加者によってエントリーをキャンセルする場合は下記の要領でエントリー費用の一部が、指定の銀行口座に返金される。返金は大会当日までに実施される。連絡先・事務局は JEC プロモーション。

1. 各クラスのエントリー締め切り日までにキャンセルの連絡が事務局に届いた場合。
事務手数料 2500 円を差し引いた全額が返金される。
2. 8 月 31 日までにキャンセルの連絡が事務局に届いた場合。
エントリー費用の 50%が返金される。
3. 9 月 1 日以降はエントリー費用は返還されない。

不可抗力による大会の中止

戦争、政変、自然災害等、不可抗力で大会の開催が中止された場合、エントリー費用は返還されない。

2019 HTDE 大会特別規則

1. 「2019 日高ツーデイズエンデューロ」は 2019 MFJ 国内競技規則、付則 23 エンデューロ競技規則、付則 24 エンデューロ技術規則及び本 2019 日高ツーデイズエンデューロ大会特別規則に基づいて開催される。日高ツーデイズエンデューロは以下、HTDE と略記する。
2. HTDE は一般公道を使用するため、出場車両は一般公道走行可能とされる登録車両で自動車賠償責任保険加入が義務付けられる。(エンデューロ競技規則 14)
3. 補給の際には、全出場者に対して環境保護マット(エンデューロ競技規則 18)の使用を義務付ける。環境保護マットは、吸湿性があり、かつ、液体が地面へ透過することを防ぐ素材であることが望ましいが、それを準備することが難しい場合はいわゆるカーペットや樹脂製シートのようなものでもよい。大きさはホイールベース長×ハンドルバー幅以上とする。
4. パルクフェルメが設置されたメインパドックにおいての洗車、および洗車機、高圧洗浄機の使用を禁止する。競技終了後に洗車可能な場所は当日主催者によって指定される。(エンデューロ競技規則 19-4)
5. 競技第 1 日目は前日車検を受けた選手と当日車検を受けた選手間において公平性を保つために、スタートの合図から 1 分以内にエンジンの力で 20m ライン(第 2 ライン)を通過できなかった場合のペナルティを課さない。(エンデューロ競技規則 17-4) 20m ラインそのものは設置され、1 分以内にエンジンの力で 20m ラインを越えなかった場合は、モーターサイクルを押してこのラインを通過し、後続の邪魔にならない場所で作業しなければならない。
6. ゴーグルに装着するティアオフ(ロールオフ等の巻き取り式でないもの)は環境保護の観点から使用を禁止する。(他国開催地で家畜・野生動物への影響が報告されています)
7. パドック内は禁煙とする。喫煙は車両内か指定された場所でのみ可とする。同様に火気の使用は禁止される。
8. ナンバープレート 転倒時における切創(切り傷)を防ぐため、ナンバープレートの外周が露出している場合、シリコンチューブに切れ目を入れたものや、透明なビニ

ールテープ等でカバーすることを強く推奨する。

脱落防止のためにタイラップなどでナンバープレートを保護する場合、文字・数字が隠れないように留意すること。大会役員がナンバープレートの視認が難しいと判断した場合は改善しなければならない。

9. パドックでは、参加チーム、グループ毎ないし、テント 1 つに対して最低一個の消火器(エンデュール競技規則 18-1-9)を用意し、第三者に判りやすい場所に設置することが義務付けられる。※大会開始前に役員はパドックを巡視し、消火器の設置を確認する。確認できなかった場合は、大会側が用意した消火器を設置する区画に移動しなければならない。

10. 競技会場のすべての場所において、燃料の保管には消防法に合致した燃料タンクを用いなければならない。ポリタンク等での保管は認められない。

11. スペシャルテストにおけるスタートとフィニッシュ

スタートはスタートラインで停止し、エンジン稼働状態で行う。ローリングスタート(前進しながらスタートの合図を待つこと)は禁止される。ローリングスタートを行った場合は 1 分のペナルティとする。選手はスタートラインにつき、スタート係員によって合図が出された後、5 秒以内にスタートしなければならない。1 度目の合図でスタートできなかった場合は注意、2 度目の合図でスタートできなかった場合は 20 秒のペナルティ、3 度目の合図でスタートできなかった場合は 1 分のペナルティ、4 度目の合図でスタートできなかった場合は失格とする。

スペシャルテストのフィニッシュラインを通過した後、30m は停止してはならない。30m 地点には明確な 30m サインを掲示する。

12. リスタート

競技第 1 日目をリタイヤした選手は競技規則 8 の規定に従って、リスタートすることができる。なんらかの理由でパルクフェルメに入れられた車両は再車検を受けたものと判断されるが、車検長・競技監督が再車検の不合格を判定した場合はこの限りではない。1 日目にリタイヤした選手の車両が翌日のスタートのために再車検を受けられるのは、当日の最初のライダーがフィニッシュに到着してから、最終ライダーがフィニッシュする予定の時刻から 90 分が経過するまでとする。

13. 表彰

HTDE の全日程を通じた総合成績(タイム+ペナルティポイント)によって、各クラス、クラブチームクラスの表彰を行う。対象はエントリー状況による。

14. 公式通知

以後に発行される公式通知は、すべてこの特別規則に優先する。

15. タイムリミット

IA/IB/NA 早・遅着のペナルティ合計が 30 分以上で失格

NB/W/B/C/F/V 早・遅着のペナルティ合計が 60 分以上で失格

16. 補給箇所

補給可能なタイムチェック間の最大の公式距離は 55km とする。

付記 ミスコースへの対応

ミスコースをしないように十分に注意してください。そのために、タイムチェックやスペシャルテストの順番、ルート図などの情報を精査して、間違えないように慎重に走行してください。「コースマークが見にくかった」「現場にいた人が間違った案内をした」という理由は、救済の対象になりません。

付記 工具、スペアパーツ、非常食の携帯

水没等マシントラブルに対応した最低限の工具、スペアパーツを携帯していない選手が近年多く見られます。マシントラブルへの対応は基本的に選手自身で行うものです。リタイアした場合も原則としてご自身の責任でマシンを回収しなければなりません。そうなった場合に、最低限の工具・パーツが無いと、復帰・回収に長い時間と大きな労力がかかり、大型野生動物と遭遇する恐怖にさらされることにもなります。円滑な大会運営の支障にもなりますので、どうか、エンデューロライダーとしての最低限の装備をお考えいただけるようお願いします。※コースマーシャルの報告ではプラグレンチが無くて困ることが多いとのことです。車両毎に特殊なプラグレンチが用いられることが多いですから、特にご注意ください。

受付・車両検査

1. 受付は必ず本人が行うものとし、受付終了後に本人立会いのもと車両検査を受けること。車両検査の際、ヘルメット(MFJ 公認ヘルメット)の検査をあわせて実施する。
※2016 年よりフルフェイス型であることが明文化されています。

2. IA・IBの選手のメカニックとして作業を行う者はピットクルーライセンスまたは **MFJ エンデューロ競技ライセンス**を提示の上、メカニック登録を行い、大会指定の許可証を受け取ること。メカニック作業に従事する場合は指定の許可証を見やすいように着用・装用すること。また、メカニック登録を行わなかった場合はワーキングエリアへの立ち入りを禁止する。
3. IA・IB 以外の選手のメカニックとして作業を行う者はメカニック登録を行い、リストバンドを着用すること(ライセンス不要)。メカニック登録を行わなかった場合はワーキングエリアへの立ち入りを禁止する。

受付・車検日程

9月13日(金) 12:00～16:30

9月14日(土) 06:00～07:30

※金曜日の車検は、全クラス、時間内であれば自由なタイミングで受けられます。

※土曜日朝の車検は、クラス毎に時間の指定があります。

14日(土) 車検時間

全日本クラス 06:00～06:40

承認クラス 06:45～07:30

F・ウィンテージクラスの受付・車検

(金) 12:00～16:30

(土) 06:45～07:30

(日) 06:30～07:00

受付車検・場所 メインパドック(沙流川温泉ひたが高原荘駐車場)

必要書類・対象物

運転免許証 / 健康保険証 / 車両登録証 / 自賠責保険証

MFJ 競技ライセンス(エンジョイライセンス)

誓約書 / 車両仕様書

参加車両 / 使用するヘルメット(2ケ以上使用する場合すべて)

ライディングナンバー

ライディングナンバー(ゼッケン番号)は、全日本クラス・承認クラスで固定ナンバ

ーを有する選手はこれを使用。固定ナンバーのない場合は、受付順などを考慮して決定する。 ナンバーは指定色で、アラビア数字の見やすい書体を使用、(フリーハンド、明朝体、飾り文字、筆文字、ローマ数字、漢数字など禁止) 前、左・右の3ヶ所に見やすく表示すること。

※判別しにくい文字が増えています。車検長によって改善を指示されることもありますのでご注意ください。大会運営にとって重要ですのでご理解ください。

車検の概要

本大会では、MFJ エンデューロ技術規則に則ってすべての車両の検査を実施する。以下は検査の概要を解説したもの。

保安部品

エンデューロ技術規則 18 保安部品 については、以下の項目で検査を行う。

1. ヘッドライト(前照灯)の点灯。ハイビーム、ロービームの切替
2. 前後左右ウインカーの装備・点灯・点滅(埋め込み式も認められるが、いずれの場合にも、左右ウインカーの間隔を前 30cm、後 15cm 以上とし、十分な視認性が確保されていること)
3. ホーンの鳴動
4. リアビューミラーの装備(片側だけの場合は右側に装備のこと)
5. スピードメーターの作動
6. テールランプ(尾灯)の点灯、反射材の装備(ナンバープレート上への取付不可)
7. ブレーキランプの点灯(前後それぞれのレバー操作による点灯)
8. ナンバー灯の点灯
9. ナンバープレートの装備。(湾曲していないこと。後方から用意に判読できるような角度で取り付けられていること)。
10. サイドスタンドの装備
11. 後輪に FIM 規格エンデューロタイヤが装備されていること。(後輪に 16 インチ以下の小径ホイールを装備した車両は除く)。前輪の寸法は自由。
*公道走行可能なトライアルタイヤには FIM エンデューロタイヤ規格を満たしているものがあり、その場合は使用可能。

音量測定

競技車両は各選手の実任において準備されているとの認識に基づき、運営能力の範囲内で、極端に音量の大きな車両の走行を防ぐことを目的とし、独自の音量測定検査を行う。方法はエンデューロ技術規則の 23 に示された 2mMAX 方式によって行う。規制値は 112db/A とする。

車検についての付記 その1

排気音量は、公道を使用するイベントの実施・存続にとって大きな問題となっています。2mMAX 方式による 112db は決して厳しい数値ではありませんが、MX 車ベースの車両や、グラスウールの劣化したサイレンサーではこの規制値をオーバーすることがしばしばあります。HTDE の車検では、この規制値を厳密に守りますので、選手の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。この機会にサイレンサーのグラスウールの点検・交換などの整備をおすすめします。また、音量に不安がある場合には、STD サイレンサー、低音量仕様のサイレンサーを持参するなどの対応をおすすめします。

車検についての付記 その2

保安部品類の装備も、排気音量と同様の取り組みをお願いします。HTDE の車検は、法規への完全な適合をチェックできるものではありませんので、やはり選手のみなさんの自主的な対応が欠かせません。車検項目に明記されていない場合でも、小さすぎる灯火類や明度の不足等、車検長・競技監督が適当ではないと判断した場合には、改善を指示します。ご理解、ご協力をお願いします。

マーキング

車検に合格した車両には、下記の要領でマーキングが行われる。マーキングされたパーツは交換が禁止される。(競技監督の指示、許可を受けてサイレンサーを交換する場合を除く)

マーキングされるパーツ

1. フレーム(メインフレーム ステアリングヘッドの右側)
2. 前後ホイール(各ハブ)
3. クランクケース(右側)
4. サイレンサー

排気量の申告

エントリー用紙・車両仕様書に記載されたエンジン排気量を超えていた場合は、失格の対象となる。エントリー用紙、車両仕様書へ記載する排気量は、出場時点での排気量(cc)を> 明記すること。

クラス区分

クラス名称	適用	排気量	ゼッケン色
全日本クラス	MFJ エンデューロライセンス		
IA	EDIA ライセンス	オープン	赤地に白数字
IB	EDIB ライセンス	オープン	紺地に白数字
NA クラス	EDNA ライセンス	オープン	黄色地に黒数字
NB クラス	EDNB ライセンス	オープン	白地に黒数字
W クラス	EDNB ライセンス	オープン	紫地に白数字 (左上に W)

承認クラス MFJ エンジョイライセンスまたは他の競技ライセンス

B クラス	上級	オープン	黒地に白数字
C クラス	初中級	オープン	緑地に白数字
C-W クラス	女性	オープン	白地に赤数字
F クラス	ビギナーやカムバックライダーなどの体験		受付で支給
ヴィンテージ	1989 年以前の車両		受付で支給

ルート、及びスペシャルテスト

下記は 4 月現在の予定で、今後の現地調査によって変更される場合がある。通常エントリー期間の開始までに詳細を発表する。

1. ルート

競技 1 日目	1 周 約 125km + 25km ショートループ(IA/IB/NA)のみ
競技 2 日目	1 周 約 125km

2. スペシャルテスト (暫定)

ゲレンデ CT	4.0km
貯木場 CT	2.5km
若葉団地 XT	2.5km
チロロ ET	3.0km

ファイナルクロステスト

ファイナルクロステストは実施しない。

タイムスケジュール

9月13日(金曜日)

12:00～16:30	受付・車検	本部前
17:30～18:00	開会式	ひだか高原荘

9月14日(土曜日) 競技第1日目

06:00～07:30	受付・車検	本部前
07:45～08:00	競技説明	本部前
08:15	1組目パルクフェルメ入場	パルクフェルメ
08:30	1組目スタート	スタートライン
15:00	1組目ゴール	パルクフェルメ
16:30	最終組ゴール	パルクフェルメ

9月15日(日曜日) 競技第2日目

07:15	1組目パルクフェルメ入場	パルクフェルメ
07:30	1組目スタート	スタートライン
13:00	1組目ゴール	パルクフェルメ
14:30	最終組ゴール	パルクフェルメ
15:00	暫定結果発表	本部前
15:30	正式結果発表	本部前
16:00	表彰式および閉会式	本部前

*当日までに変更があります。あくまでも暫定版としてご参照ください。

プレス・報道関係者の登録

1. 大会にプレス(取材者)として参加を希望する場合は、JEC プロモーションを通じて事前にプレス登録を行ってください。プレス申し込みは(下記リンクを参照)、MFJ 年間プレス登録者の方はお名前と連絡先、暫定プレスの方は氏名、連絡先、会社名(委託先) 掲出媒体名、取材実績等を期日までにご連絡いただき、大会当日、大会本部で受付を行ってください。 受付締切 2019 年 9 月 5 日。

MFJ 公認・承認競技会取材について

<http://www.mfj.or.jp/user/contents/Applications/interview/interview.html>

プレス傷害保険料 2000 円 (MFJ 年間プレス登録者は除く)

プレスゼッケン保証料 2000 円 (MFJ 年間プレス登録者は除く。ゼッケン返却時に返金します。)

可を得てください。

肖像権

主催者および運営主管団体である日高モーターサイクリストクラブは、広報の目的で、エントラント(選手、メカニック、補助員)および、選手に同行する関係者の氏名・写真を公開する権利を有する。また主催者が認めた報道関係者が、これらを使用することを認めることができる。その他、MFJ エンデューロ規則「肖像権」に準じる。

救護体制

日高西部消防組合日高支署の協力により、本部会場に救急車 1 台と救急救命士を配置する。

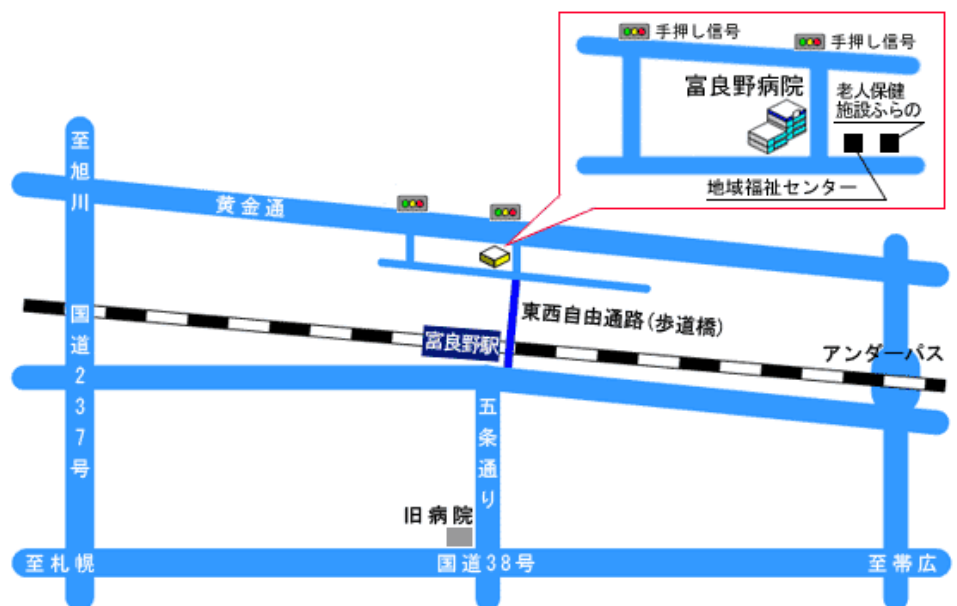
2019 年 9 月 13 日～15 日 医療機関

富良野協会病院 富良野市住吉町 1-30 TEL. 0167-23-2181
会場より一般車両で約 60 分

日高町立日高国民健康保険診療所 日高町栄町東 1-303-2 TEL. 01457-6-2155
会場より一般車両で約 6 分

平取町国民健康保険病院 平取町本町 67-1 TEL. 01457-2-2201
会場より一般車両で約 45 分 救急指定

日高町立門別国民健康保険病院 日高町門別本町 29 番地 TEL. 01456-2-5311
会場より一般車両で約 70 分



富良野協会病院 アクセス地図

富良野市住吉町 1-30 TEL. 0167-23-2181

主会場・パークフェルメ

沙流川温泉ひだか高原荘 〒055-2315 日高町字富岡 444-1

TEL. 01457-6-2258 FAX. 01457-6-3378



競技に関する問合せ先

日高モーターサイクリストクラブ事務局

〒064-0944 札幌市中央区円山西町 7-7-9

TEL. 090-3110-1571 FAX. 011-621-8999 (春木久史)

Eメール hidaka@myad.jp

エントリー(参加申込み)についての問い合わせ先

〒243-0201 神奈川県厚木市上荻野 3683-20

JEC プロモーション

TEL : 046-205-0874 FAX : 046-265-0010

Eメール jecpro.knakanishi@gmail.com

HTD.E

